

あいあいあい
I eye 愛

2024年

6月号



※花摘み…良い実を育てるため、咲いたりんごの花を選別して余分な花を摘み取る作業



4月27日 天童トライりんごオーナー活動【花摘み】

受け継がれるりんごの木のように
組合員活動の想いも次世代へ

理事 鈴木 真奈美

食糧を生産し（あるいは生産してもらい、それを食べて生きる私たち。けれどできるだけ、農薬という毒で大地や水を汚さずにいたい―それがあいコープの農産活動の基軸です。

果樹栽培を知る人ならば「あり得ない」と呟いてしまう程難しい「ネオニコチノイド系農薬不使用りんご」は現在、天童果実同志会(山形県)の園地で、組合員がオーナーになり出資

することで作られています。昨年の198名のオーナーが出資した約60万円は、オーナーに配分されたりんごの代金のほか、産地に植えられる新しい苗木や、害虫の繁殖を抑制するフゴモン剤(枝に結ぶも状の製剤で作物に残留しない)の購入に使われました。農薬削減により発生する経済的リスクから農家を守ろうと始めたオーナー制。生産者と組合員の頑張りで美味しりんごを収穫でき、残った資金は次世代の取り組みのために有効に使われたことをここで報告するとともに、組合員の想いを受け止め、殺虫剤に頼らない害虫対策にその資金を活かしてくれた生産者の皆さんに感謝いたします。

今年度のオーナーは207名と増え、産地で生産者と農作業を実践するコースの当選確率はなんと2.5倍でした。当選し園地で参加している組合員には加入して日の浅い方も多く、「子供を連れて自然の中で農業体験してみたい」という気軽な動機で参加してみたら、その活動の意義の深さに驚いたという方もいらっしやることと思います。

自分たちが口に入れるものを、極力自然に、安全に…と願う気持ち。一方、農薬を使わざるを得ない被害の現実を知り、農業を生業とする人々を想う気持ち。現場での活動に参加して得られるこの葛藤こそ、私たち組合員が考え作る未来への第一歩です。答えは一つではないかもしれませんが、私たちは思考停止した「単なる消費者」にはなっていない、生産者と共に在る「仲間」になろう！と実感できる農産活動を、これからもずっと続けます。

産地では、家業を継ぐ子のために親がりんごの苗木を植えるそう。あいコープの活動も絶やすことなく、新しい苗木を植え続けましょう。

CONTENTS

▶原木椎茸見学会開催 …2
▶GM ナタネ調査今年も継続 …3

▶あいコープ職員のコアサイクル活動 …4-5
▶紅茶の淹れ方・楽しみ方を学ぶ講座 …6

▶あいコープのジョイケアを使ってみよう …7
▶生産者さんにあいに行こう わ・は・わ味明の巻 …8

木漏れ日のしいたけ山で収穫体験を行いました♪

4 / 6 食と農委員会 原木椎茸見学会

登米市東和町・芳賀裕さんの圃場にて、原木椎茸見学会を行いました。組合員、理事、職員総勢41名が参加、自然豊かでのどかな環境の中、見学や交流など充実したひと時を過ごしました。

芳賀さんからは、東日本大震災後、宮城県内の原木が使用できなくなり原木を九州から取り寄せ、地面に砂利を敷きつめ放射能対策をしたことなど様々なお話を聞かせてもらいました。

見学後は山の斜面に積まれた「ほだ木」から顔を出す椎茸の収穫体験です。小さいもの、手のひらほどの大きなもの、かさが開いたもの、乾燥気味のものなど様々ある中から、5cm以上のものを収穫しました。原木からもぎ取る時に手に伝わる感触など実際に見て触れられることも産地見学の醍醐味！収穫後は山を降りて椎茸汁と椎茸の炭火焼きをみんなで試食させてもらってお開きとなりました。

今回、大勢の組合員が実際に芳賀さんのお人柄に触れ、皆さんからは感謝と応援のメッセージが寄せられました。今後もずっと利用していただけたら嬉しいです。

理事 太田代 一世



木漏れ日を再現したハウス



参加者と交流する芳賀さん（中央）



ほだ木からもぎ取り体験

「冬の節電アクション」当選者決定！

たくさんのご応募ありがとうございました

毎年恒例の「冬の節電アクション」。電力使用量の一番大きい冬に節電に取り組んでもらおうと始めたこの企画も今年で9回目となりました。ご応募いただいた皆様ありがとうございました。合計で246件、過去最多の応募数に脱原発エネルギーシフト委員は嬉しい悲鳴をあげつつもしっかりと全てのレポートに目を通し特別賞3000ポイント3名を選びました。

その他の賞は厳選なる抽選にて、あいコープ賞5000ポイント1



あいコープ賞を選ぶ高橋理事長（右）

名、節電賞1000ポイント20名が決定しました。ほとんどの方が昨年よりも使用電力量を減らし、合計で611kWhもの節電となりました。レポートには皆さん

が取り組んだ節電方法がたくさん。テレビを消したりエアコンの温度を下げたりなどの定番の節電のほか、体を動かす、外出する、家族みんなリビングで過ごす、など節電だけでなく健康や団らんも得られる取り組みもありました。アメーバブログでもみなさんの節電方法を紹介していますので参考にしてみてください。

今年の夏も猛暑が予測されています。冬のみならず夏も節電を意識してきましょう。

脱原発エネシフト委員会担当理事

櫻井 洋子



脱原委員会の
ブログ
<https://ameblo.jp/icoop-miyagi-fun>

【GMナタネ調査2024】

石巻で3検体の陽性を確認

日本では栽培が認められていない遺伝子組み換えナタネ（以下GMナタネ）が、食用油の材料や家畜の飼料用に輸入されており、それが輸送中にこぼれ落ち自生することがあります。それを見つけて出し、行政や関係企業に結果を報告し対策を求める活動をしている「ナタネ調査隊」は全国に仲間がいて、あいこーぷみやぎは2007年から参加しています。今年も全組合員にチラシ配布し参加を呼びかけた調査隊に、一般からの参加と生産者も加わって、仙台港と石巻港で調査を行いました。



ナタネと同じアブラナ科のハタザオガラシの群生にも目を光らせます（4/10 仙台飼料周辺）



今年で20年目となる地道な調査は市民科学の分野で世界でも評価されています（4/24 石巻）



地区委員が身近で採取したナタネを持ち寄り検査しました



実際に目で見てやってみることで理解が深まります



簡易検査キット

2本線が出れば〈陽性〉＝遺伝子組み換えナタネです

その結果、3〜4月にかけて採取した24検体中、3検体が除草剤（ラウンドアップ）耐性のGMナタネでした。3検体はいずれも石巻港周辺で採取したもの。周囲にあるアブラナ科の植物との交雑も懸念されます。石巻では季節外れのGMナタネ開花も過去に確認されているので、これからも油断なくパトロールを続けます。

担当理事 辻朗子

@しおさい地区委員会

しおさい地区では毎年「遺伝子組み換え（以下GM）ナタネ調査」を行っています。石巻地区の辻理事が見つけたセイヨウナタネ、他に植物が生えていない場所にポツンと咲いていたそうで除草剤に耐性があるGMナタネと予測！毎年恒例にも関わらずGMナタネを見たことのない地区委員は興味津々で検査しました。結果はやはり農薬ラウンドアップに耐性のあるナタネでした！除草剤を散布しても枯れないよう、人間の都合で遺伝子を組み換えられてしまうなんて、どう思いま

すか？人間の身体や環境への影響、心配ではありませんか？法律ではGMナタネを国内で育てるのが禁止されているとのことです。飼料として輸入されたGMナタネが地面に落ち育つことがあるそうです。在来種とGMナタネが交雑するとあつという間に交雑種が広がります。市民の手でGMナタネを調査し原因を探るなど地道な作業をし、政府へ対策を呼び掛けることが不可欠と実感しました。

しおさい地区委員 中鉢 典子



組合員⇄職員⇄生産者・・・みんなに良いコト ぐるぐるまわる

あいコープ職員の【コアサイクル活動】2024

★コアサイクル活動とは・・・

職員が年間通して生産者のもとを訪れ、商品作りの現場で体験や学習をする。商品の持つ生協運動の意味を知ることができる



学びを得た職員は、組合員に生産者のこだわりや商品の良さを伝えることができる「プロの生協職員」へと成長できる



伝えられた情報は組合員が商品を選ぶ目安になる。良さを知り買い支えることで利用が促進される



商品と生産者の良さをよく理解した職員は「語り部」になる



組合員はカタログでは伝わりきれない生産者の魅力を知る



組合員の利用により、生産者は安定して商品を作り続けられる

★今年度のコアサイクルチーム紹介

コア あいシテル 《鎌田醤油》

供給課 鈴木 隼



私たちは、鎌田醤油さんの PB あいシテルの「こだわりの麺つゆ」について学び、活動していきます。鎌田醤油さんで使われている国産大豆、遺伝子組み換えについてなど、学んだことを組合員さんに伝えていき、鎌田さんの商品をご利用いただけるよう、チーム全員で学習していきます。



お世話になります

コア 産直 《石井商店》

セットセンター 岡崎 茂大



今年度、われわれコア「産直」チームは「海苔」がテーマです。まんま通信紙面に登場して間もない石井商店さんから、産直海苔について色々教わろうと思います。学んだことを、市販品との違いを含めて組合員さんに発信していきたいと考えています。ゆくゆくは地区活動とコラボレーションしたり、学びを秋のWa! わあ祭りでも PR できれば…などと目論んでいます。2 回ほどニュースを丁合する予定ですので楽しみに～



お世話になります

コア GM・飼料 《米沢郷牧場》

営業課 相澤 卓也



米沢郷の平飼いこめたまごについて学びます。近年の原油価格の高騰や社会情勢の影響で、様々なものが値上がりする中で、米沢郷の生産者は国内産の飼料にこだわり、地域循環の生産方法を実現しています。その活動を学び、既存の組合員さんはもちろん、新規で加入される組合員さんにも活動をお伝えすることで、あいコープの商品を利用する方が増えていただければと思います。



お世話になります

コア 循環型農業 《大郷みどり会》

供給課 竹内 康雄



新入職員も多くなりました。あいコープの三本柱のひとつである「オーガニック」を理解させるため、コアサイクルでは大郷みどり会で学習させていただきます。無農薬・減農薬で作物を作る大変さを実際に体験し、組合員さんへしっかり伝えられるよう全員で学習していきます。



お世話になります

コア 福祉・開発 《パン工房わ・は・わ》

供給課 草苅 和斗



私は社会福祉法人みんなの輪「パン工房わ・は・わ」さんでパンの開発と福祉を学びます。重点は福祉です。言葉としては把握できているものの、概要や詳細まで、漠然としているものを明確にして、伝えられる知識財産を手に入れます。開発に関しては組合員さんと共に作り上げることが大切に、愛されるパン商品を作り上げます。



お世話になります

コア 産直肉・添加物 《タンポポ村》 《ミートセンター》

供給課 北 哲也



生産現場から食卓まで、生産～加工～流通が明らかなあいコープの畜産の優位性、そこに関わるみんなの輪との連携や「なぜ協業しているのか」を学びます。また、合成添加物の危険性についてしっかり学び、組合員に広める活動を行います。アウトプットとしてチームニュース作成配布を行い、組合員に利用の輪を広げ産直肉の利用向上を図ります。



お世話になります

コア 環境 《わ・は・わ味明》

供給課 茄子川 大輔



「めぐる石けんさいかち」を製造している社会福祉法人みんなの輪の工場見学や組合員活動への参加など「体験を通じた学び」を通して、石けんの歴史・取り組みを職員一人ひとりが自分ごとにしていきたくと思っています。組合員の皆さんには学んだことを紙面媒体を通して、定期的にアウトプットを行っていきます。



お世話になります

★「学び・発信」を競い合い切磋琢磨



1 年かけて産地を知り学んだことを、各チームはニュース形式の貼り物や動画などにまとめて発信します。「よく学び、優れたまとめをしている!」と感じたチームに投票することで順位をつける、お祭り「賞レース」も開催。2023年度に最優秀賞を獲得したのは板橋幸大職員らによる「コア生協産直天童」チームでした!

去る3月30日に行われた「部門方針説明会」で表彰され、一年間お世話になった天童果実同志会の生産者、伊藤洋平さん(前列中央)を囲み、喜びの記念写真。さあ今年、最優秀賞に輝くのは、どのコアサイクルチームでしょうか? 乞うご期待。

4/20 大郷グリーンファーマーズ 新社屋の完成祝い

大郷みどり会の新社屋が完成し、理事がお祝いに伺いました。法人として 25 年になるという(有)大郷グリーンファーマーズ。社屋には「有機農業」を目標とする経営理念が掲げられていました。

事務所の隣には穫れたての小松菜を袋詰めする広いスペースがあり、実際に機械を動かしてその様子を見せていただきました。明るくてゆったりした作業スペースで、気持ちも新たにお仕事に励まれることと思います。ライスセンターのすぐ傍ですので、大郷の田んぼ交流の際などに組合員も立ち寄らせていただこうと思います。

理事 藤田 紀子



青空のもとで行われた新社屋お披露目会

4/4 社会福祉法人みんなの輪 わ・は・わ広瀬 開所式

社会福祉法人みんなの輪の多機能型事業所「わ・は・わ広瀬」(仙台市青葉区)が4月1日に開所し、あいコープからも数名お祝いに駆けつけました。仙台市内で生活介護事業を行うことは、みんなの輪の職員の願いでした。法人として大郷町、美里町での生活介護の経験を積み重ね、実現に漕ぎ着けたのです。

仙台市内でも重度の障がいを持ち、医療的なケアが必要な方が多くいるのに関わらず、生活介護事業所の数が少ないのが現状でした。障がいのあるなしにかかわらず誰もが安心して暮らせる社会を目指す「わ・は・わ広瀬」の挑戦をこれからも応援していきます。

理事長 高橋 千佳



新しい施設で利用者さんも気持ちよく過ごせそう

おだいの
たねまき



(有)ランカスター林さんに聞く

奥深き紅茶の世界

仙南地区委員会では5月17日、まんま通信で紅茶やココアなどでおなじみ、(有)ランカスターの林徳久さんをお迎えし、紅茶の産地とそれぞれの特徴、淹れ方等を詳しく教えていただきました。グループごとに3種(ダージリン・アッサム・オレンジペコー)の紅茶の飲み比べでは、美味しい紅茶を淹れるコツを伝授していただきました。

空気を多く含んだ水を沸騰させ、沸かし立てのお湯を茶葉が入ったポットに入れると…茶葉がお湯の中で踊るように(ジャンピング)！これはなかなか難しく、林さんに教わりながらやってみました。ティーバッグで淹れる時は熱湯を注いだカップにティーバッグを入れる順番がオススメだそう。2分程



説明をする林さん(右)



茶葉がジャンピング！



まんま通信に掲載されているセイロン紅茶のティーバッグは、スリランカの主要5産地の茶葉をブレンドしている紅茶だそう。5種それぞれ、産地によって香りや水色、こく、渋みなどが違います。いつも同じ味になるよう調整してブレンドしているそうです。

理事 三浦 一枝

お湯に茶葉を沈め、ゆつくり蒸らすことできれいな紅茶の色が出るそうですよ。また、ロイヤルミルクティー作りにも挑戦し、上質のアッサムの茶葉とパスチャン牛乳の組み合わせで、とても美味しくできあがりしました。

参加者の皆さんからは「きちんと淹れた紅茶はこんなに美味しいのかと感動しました」などの感想をいただき、紅茶について改めて深く学ぶことができました。その世界に魅せられた時間となりました。

みんなのかんたん！

資源循環プロジェクト
—第5回—

はさま自然村のある登米市は宮城県北部に位置し、お肉になる牛さん豚さんの頭数を合わせると、登米市民とおおよそ同じ9万頭もいる畜産大国です。その豊富にある家畜の排せつ物と、米の産地として排出する粃殻を中心とした堆肥作りや、資源循環の流れは、登米市では昔から行われてきた風景です。

今回の「あいコープ資源循環型農業推進プロジェクト」で、私たちは新たな資源に着目しました。実は海にも近い登米市。廃棄せざるを得ない三陸のワカメの茎を混ぜて、ミネラルを加えた堆肥作りを目指したいと考えています。できれば、牛堆肥主体の露地栽培用と米糠主体のハウス栽培用で分けたいな…などと、夢が膨らんでいます。

資源循環プロジェクトで学んだ堆肥作りの基礎を自分達の形に落とし込んで、はさまの堆肥ができ、もっともつと登米の味がする米や野菜が出来るのを、楽しみに作業しています。

はさま自然村 菅原 達徳



わかめの茎を前に…

理事会議事録抄

2024年5月7日(火)

▼第36回通常総代会のプログラム及び役割分担について確認した▼ジョイケア2023年度決算及び2024年度予算について承認した▼「秋保発！伝統野菜・仙台芭蕉菜のたねをつなごう」企画案を承認した▼第3号議案【あいコープと協働する労働者労働組合(ワーカーズ)設立及び業務委託契約終結の件】総代に向けた補足資料について承認した。

組織概要

(2024年4月分)

【組合員数】	17,068名
【供給高】	261,090千円
【一人実利用高】	6,135/週
【出資金】	1,374,503千円

お詫び
あいあいあい5月号6ページであいコープの電話番号に間違いがありました。正しくは0120-2551044です。大変申し訳ありませんでした



果物を作る為には人の手をかけなければいけない事を改めて知りました。あいコープの体験活動に参加すると、美味しいものには理由があり人の手や愛情や時間がたっぷりかかっていることがよくわかります！(天童トライリンご摘花参加者)

誰もが安心して暮らせる社会を

ジョイケアシステムを使ってみよう！

ジョイケアシステムは組合員の皆さんからの、毎月100円の拠出金によって成り立っています。「たすけあいケア」では、日常生活でちょっとした困りごとが生じたときに、依頼者ごあらかじめ登録している組合員（ケアメイト）とをジョイケア事務局がコーディネートして紹介します。ちょっとした困りごとでケアできる具体的な例をご紹介します。ケアについて詳しくは事務局にご相談ください。

・PTA活動と子どもの習い事が重なった。子どもは小学校から直接習い事に行くので一緒に行ってもらえる

と助かるため、送迎をお願いしたい。

（徒歩、またはバスなどの公共交通機関を利用して送迎します。）

・骨折して右腕が使えない状態。洗濯は洗濯機がしてくるからいいけど、干すことが出来ず夫にしてもらっていたが、出張でいない日がある。干すのだけでもお願いしたい。

（依頼者宅が留守の状態ではケアメイトだけでは活動しません。）



・おばあちゃんが通院している。いつもは娘である私がついて行くが仕事で一緒に行けない日がある。通院に付き添ってほしい。

・産前産後で家族の食事準備が大変。夕飯の食事作りと出来れば作り置きもお願いしたい。

（食材は依頼する方に準備してもらいます。献立は毎回話し合って決めます。）

私のオススメ商品



私がオススメするのは冷やし中華・タレ付き（マツダ製麺）です。麺の原材料は国産小麦、花兄園の花たまご、食塩、最低限のかんすいのみで

安心です。タレは醤油ベースにりんご酢、レモン果汁でさっぱり仕上がり食欲がない時もペロリと食べられます。たくさんの野菜とサラダ感覚で食べると栄養も豊富に美味しく食べられますので、これからの時期にぜひおひとついかがでしょうか？

事業部 佐藤優大

編集後記

Open Ai が2022年にChatGPT3を公開してから瞬く間に生成AIは身近なものになりました。人間社会がその技術になじむ時間がないまま社会に浸透する速度は増えています。どんな技術もバラ色の未来ばかりを示しはしません。AIも例外ではなく、ウクライナやガザで軍事への実装が進んでいることが報道されています。人の意思決定がもっとも重く問われる戦場で、意志決定が「自動化」されているという非人間的な現実が始まっているのです。傍観者ではいられません。

組織運営室 豊嶋馨

委員さん募集中！

あいコープの仲間と
食のこと
環境のこと
一緒に話しませんか？

お問い合わせ先
☎0120-255-044
Fax 0120-849-324
Email soshiki@mamma.coop
(担当：組織運営室長 豊嶋)



組合員が利用できる電話相談

お申込み・お問合せは
ジョイケア事務局へ



0120-50-7277 平日 9:00～17:00

年金相談・・・7/9(火) 社会保険労務士 清野道子氏

13:30～15:30

法律相談・・・7/9(火)、7/17(水) 弁護士 倉林千枝子氏

13:30～15:30

子ども相談・・・7/16(火) 宮城教育大学教授 菅井裕行氏

10:00～12:00

*介護相談は相談日のご希望を伺います。

介護相談 (ケアプランセンター木れび 山崎彰子氏)

▼随時予約可能です▼各相談窓口前週の金曜日までに予約して下さい▼金曜日が祝日の場合は直前の平日の受付時間まで受付します▼予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話を差し上げます。

ジョイケア NEWS

ジョイケアシステムは、あいコープみやぎ独自の地域福祉政策で、組合員全員の拠出金(100円/月)によって成り立っている助け合いの仕組みです。社会福祉法人「みんなの輪」、NPO法人「お茶っこケア」、ビッグイシューへの支援など、地域福祉にも役立てられています。個人で利用できるサービス(ささえあい/たすけあい/集団託児/慶弔・出産/電話相談)もあり、組合員同士の助け合いやケアメイトによる集団託児なども多く利用されています。

ジョイケア利用状況 (2024年4月分)

ささえあい(保障)	2件	◆集団託児	
たすけあい(ケア)	7件	利用延べ人数	8名
集団託児	5件	◆ケア時間	
慶弔・出産	14件		33.5時間
電話相談窓口	6件		
計	34件		



●本当に楽しかったです。原木椎茸のおいしさの理由も実感し、やっぱり美味しいものには理由があるなと感じました。(中略) 子どもたちも大きなシイタケに大喜びでした。(原木しいたけ産地見学会参加者アンケートより)

地域の福祉と資源循環の担い手

経験が光る“米粉”と“さいかち”製造

あいコープのPB商品「めぐる石けん・さいかち」と「米粉」の製造を行う「わ・は・わ味明(みあけ)」。パン工房に隣接する事業所と「石けん工房」を訪ねました。



油を炊き石けんを作る
工程は職員さんが担います

わ・は・わ味明には様々な仕事がありますが、石けんの作業が大好きな方から「今日は石けんの仕事ないですか？」と聞かれることもあるそう。さらに、さいかちの紙袋も利用者さんがここで1枚1枚手作業で作っているんですよ。知っていましたか？

石けん工房の次はお隣の建物。米粉の製造現場へ。大郷グリーンファーマーズを中心に地元大郷町で栽培された、特別栽培以上の玄米を年間3～4t仕入れて製粉しています。できあがった米粉はPB商品の米粉はもちろん、隣接するパン工房であいシテルの米粉パンや食パンに加工され、あいコープ組合員の食卓へ届きます。

私たちの暮らしの必需品を、わ・は・わ味明の皆さんが丁寧に作っていました。

管理者の菅原さんの案内で、まずは真新しい石けん工房へ。地域の飲食店等から集めた使用済み食用油を炊き、石けんにするための大きな窯が2つ並んでいます。小さな部屋にはエアコンもついていますが、油を炊き始めるとサウナのような暑さになるため、出来るだけ真夏を避けて製造するようにしているそうです。できあがった石けんを粉碎機に2回かけ、サラサラの粉状にしてから袋詰めする作業は障がいをお持ちの利用者さんが担っています。



折り目正しく丁寧に。それぞれの得意が生きる職場です



米粉の製造ラインでは衛生管理に特に気を使います



社会福祉法人みんなの輪 わ・は・わ味明

管理者 菅原 光さん

わ・は・わ味明は大郷町にある就労継続支援B型事業所です。一般就労が難しくても働く意欲のある方が主な利用対象者で、現在は22名の利用者さんに利用していただいています。利用者さんは知的障害、精神障害の方で年齢は20代から70代の方までおり、体力や体調に合わせて各作業に取り組んでいただいています。

作業はリサイクル石けん製造と米粉製粉作業の他、敷地内農園での野菜栽培や大郷グリーンファーマーズさんのハウス片付け等の請負作業、銅線や段ボール等のリサイクル作業等も行っています。

わ・は・わ味明の製品は障害者の就労支援と環境保全や地域との繋がりが重なって出来ています。ぜひ商品を手にとって品質をご確認いただければと思います。



さいかちの計量と袋詰め作業中、楽しそうな利用者さん

今後の予定

6/27 木

第36回
通常総代会

場所/仙台市中小企業活性化センター多目的ホール
(仙台市青葉区中央1丁目3-1 AER5階)
時間/10:15~12:30(予定)

7/18 木

石けん環境委員会主催
クリーニング屋さんが教えます!!
カラダにいい洗濯術

場所/日立システムズホール 3Fエッグホール
時間/10:00~12:00 参加費/無料
※詳しくは今後発行されるチラシをご覧ください

開催決定!

Wa!わ祭り2024

2024年11月2日(土)
仙台卸商センター サンフェスタにて!

※今後のお祭りニュースをお楽しみに



女川原発が止まってから
4834 日目
(2024年6月3日現在)